

編集後記

今回の本論集には、MJ19生と20生（2020年度、2021年度の修了者）の審査に合格した全員の修士論文の要旨および6本の論文本文を収録しています。本来であれば、昨年度に第18巻が刊行されるはずでしたが、論文本文の掲載希望者が少なかったために、本年度分と合わせて第18巻とし、2年ぶりの刊行となりました。

本論集の論文本文は、修了者の希望に基づき掲載しているものですが、全文を掲載するか、または要旨だけの掲載にとどまるかはともかくとして、これが研究成果の集大成としての発表であることには変わりありません。

この発表（刊行）により、修了生は、外部からの評価を受けることになります。そして、この機会は、修了生にとって今後の社会活動でのさらなる学びにつながることでしょう。編集に関わった者としては、修了生には、今後この機会を活かしてもらうことを期待するとともに、本誌を手にしていただいた方々には、温かい評価をお願いするものです。今後も、本誌が修了生にとって適切な研究発表の場となるよう、編集委員一同努めて参ります。

末筆になりますが、刊行にあたり、ご尽力いただいた編集委員および大学院事務職員の方々にはありがとうございました。記して謝意を申し上げます。

（鈴木/記）

編集委員（教員）

○鈴木 博康 神 陽子 吉村 真性 （○印委員長）